

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小川晃
	全体計画	平成28年度 ~ 平成30年度			経費区分	実施計画事業費		内線	3622			
事務事業名	10721 文化施設整備事業											
所 属	130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課											
施 策	04012000 生涯学習・文化芸術を核としたまちづくりの推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100610 教育費・社会教育費・文化施設管理費										
	事業	980000 文化施設整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
文化会館メセナホール等の文化施設の改修、修繕を進める。						文化会館メセナホール等の文化施設の改修、修繕を進めると共に、建築から20年を経過したため、大規模改修について検討を進める。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
	<ul style="list-style-type: none"> ・大ホールスタインウェイピアノ修繕、インターロッキング改修工事設計業務委託、外壁タイル改修工事設計業務委託、版画美術館改修工事設計業務委託、雨水対策工事設計業務委託、インターロッキング改修工事、版画美術館改修工事
平成26年度 実績	平成27年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・メセナ大ホールピアノオーバーホール、メセナトイレ様式化工事、メセナホール外壁タイル改修工事、元板倉家等改修工事、版画美術館収蔵庫空調機更新工事、人形博物館雨水対策工事、クラシック美術館精密耐震診断業務委託ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・メセナホール吸収冷温水機（R-2号機）修繕

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		45,812	0
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		45,812	0
人員数(人)	正規職員	0.2	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,371.6	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,371.6	0.0
市民一人当たりの経費		0.9	0.0
総額		47,183.6	0.0

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	2,645	ピアノオーバーホールほか
13節 委託費	4,250	設計委託、耐震診断業務委託
15節 工事請負費	38,917	文化施設整備工事
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	文化施設整備は計画的に行なう必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	各施設の劣化診断結果等に基づき、必要な施設整備を行なっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	計画的な施設整備実施に向けた財源確保が課題。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

文化芸術関連施設の老朽化した設備の改修を進めるなど、適切な維持管理を行なった。引き続き、劣化状況に対応した計画的な改修・修繕を行なう必要がある。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	—	次年度以降の方向性	—
総合評価コメント		2次評価コメント	

2次評価**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	